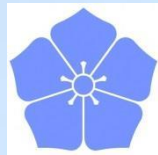


平成31年度 福知山市予算案の概要

平成31年2月
福知山市



目次



1	当初予算の全体像	3
2	当初予算の5つの柱	5
3	「新時代 福知山」への前進予算	6
4	財政健全化に向けた取組	32
5	事業棚卸しの予算反映状況	36

1 当初予算の全体像

「新時代 福知山」への前進予算

会計	平成31年度	平成30年度	増減
一般会計	416.0 億円	404.4億円	+11.6億円(+2.9%)
特別会計(11会計)	193.5 億円	203.2億円	△9.7億円(△4.8%)
企業会計(3会計)	280.1 億円	281.2億円	△1.1億円(△0.4%)
全会計 総額	889.6 億円	888.8億円	+0.8億円(+0.1%)

【当初予算のポイント】

- ◆「新時代 福知山」づくりを前進させるため、平成30年7月豪雨等の災害の復旧を最優先、防災・減災対策や学校の統合等に予算を重点配分
- ◆平成29年度策定の福知山市財政構造健全化指針と、平成29年度決算などから見える厳しい財政状況を踏まえた予算
- ◆**一般会計**の予算総額は、当初予算比較では**合併以後で最大の規模**だが、災害復旧費と地方債繰上償還金の**影響を**除くと、平成30年度比で**△1.0億円(△0.2%)**
- ◆地域情報通信ネットワーク事業の平成31年度民間譲渡に伴い、平成30年度で会計閉鎖 ⇒ 特別会計 1減の11会計

1 当初予算の全体像

一般会計	平成31年度	平成30年度	増減
歳入・歳出総額	416.0 億円	404.4億円	+11.6億円(+2.9%)
(歳出)投資的経費	51.2 億円	42.1億円	+9.1億円(+21.6%)
(歳出)経常的経費	329.3 億円	332.8億円	△3.5億円(△1.1%)
(歳入)一般財源(※)	264.5 億円	266.1億円	△1.6億円(△0.6%)
(歳入)市債(※)	31.0 億円	29.7億円	+1.3億円(+4.4%)

※臨時財政対策債は一般財源に含み市債に含まない

【一般会計歳入予算のポイント】

- ◆市税は、景気動向を反映した個人・法人住民税の増等により**2.2億円の増**
- ◆普通交付税は、合併算定替特例加算の縮減(4年目/5年:特例加算措置の7割減)の進行、平成30年度までの「e-ふくちやま整備事業」に係る合併特例債の短期集中償還が平成30年度で終了した影響等により**3.2億円の減**
- ◆一般財源の総額は1.6億円の減

【一般会計歳出予算のポイント】

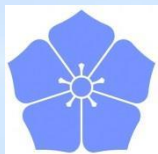
- ◆一般会計の総額は災害復旧費など投資的経費の増の影響で**11.6億円の増加**
- ◆ただし経常的経費は、第6次行革の進捗、財政構造健全化指針にもとづく取組により**3.5億円を圧縮**
- ◆地方債繰上償還額は5.2億円

【その他のポイント】

- ◆合併算定替逓減対策基金は、第6次行革での計画取崩し額(H31:2億円, H30:1億円)を、**1億円に抑制**
- ◆災害関連経費の計上はあるが、財政調整基金は**取り崩さず**に編成
- ◆経常収支比率(普通会計ベース)は、一般会計の経常的経費の圧縮に加え、地域情報通信ネットワーク事業特別会計の閉鎖の影響等により、当初予算比較による試算で平成30年度比で**3.0ポイント以上の減**を見込む

2 当初予算の5つの柱

「新時代 福知山」への前進予算



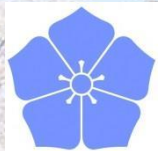
1 安心・安全な生活基盤の確立



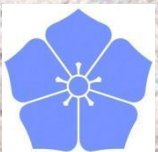
2 医療・介護・福祉の更なる充実



3 シティプロモーションの更なる展開



4 教育・産業・雇用がつながるまち



5 市民とともにつくる経営力の高い市政

3-1 安心・安全な生活基盤の確立

主要事項説明書の掲載ページを示しています

継続

調節池整備事業 7億700万円

P. 22

調節池は市街地の浸水被害軽減のための重要施設
法川・弘法川の上流でまちを守ります

国・府・市3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」で示された方針に基づき、法川及び弘法川の市管理河川等において調節池の整備を行います。

(平成31年度の主な整備内容)

＜法川流域＞

- ◆小谷ヶ丘調整池整備工事(貯留容量:30,000m³)
- ◆桃池調整池整備工事(貯留容量:7,000m³)
- ◆草池調整池整備工事(貯留容量:11,000m³)

＜弘法川流域＞

- ◆西川調節池整備工事(貯留容量:30,000m³)



西川調節池 計画平面図

継続

土師排水区段畑雨水ポンプ場建設 11億890万円

P. 206

ポンプ場の完成で土師排水区の浸水被害を大きく軽減させます

継続

法川排水区雨水排水路新設 5億5680万円

P. 206

土師排水区において段畑雨水ポンプ場の建設を完了し、法川排水区(市道一宮神社線ほか)には雨水排水路の新設を行い排水能力の向上を図ります。

平成29～31年度の継続工事



雨水排水路設置の様子
(市道一宮神社線ほか)



建設が進む
段畑雨水ポンプ場
排水能力:7.2m³/秒
調整池容量:10,000m³

3 「新時代 福知山」への前進予算

由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策事業 24億9850万円 平成31年度は総合的な治水対策の計画最終年度

種別	会計	項目	事業費(千円)	担当課	摘要
ハード事業	一般会計	調節池整備事業	707,000	道路河川課	弘法川・法川流域
		調整池整備事業(農村地域防災減災事業)	22,638	農政課	弘法川・法川流域
	下水道事業会計	水内雨水排水路改修	47,000	下水道課	法川排水区
		雨水管布設事業	540,300	下水道課	法川排水区
		雨水幹線水路改修	8,000	下水道課	法川排水区
		段畑雨水ポンプ場建設事業	1,123,200	下水道課	法川排水区
		その他	42,500	下水道課	
ソフト事業	一般会計	自主防災組織育成補助事業	1,800	危機管理室	
		自主防災組織地域版防災マップ作成事業	1,386	危機管理室	
		災害時資機材整備事業	500	危機管理室	公設福祉避難所資機材等
		災害対策一般管理事業	900	危機管理室	土のう作成業務
		浸水救助資機材整備	91	消防本部消防課	
		自主防災組織育成事業	181	消防本部消防課	
	下水道事業会計	雨水貯留槽設置補助金事業	3,000	お客様サービス課	
合計			2,498,496		

＜参考＞ 平成26年度補正予算～31年度当初予算のまとめ											(単位:千円)
種別	会計	H26補正	H27	H28	H28補正	H29	H29補正	H30	H30補正	H31	H31までの合計
ハード事業	一般会計		38,964	168,000	40,000	346,470	42,650	659,355	21,091	729,638	2,046,168
	下水道事業会計	73,000	1,201,000	1,018,480	108,000	1,361,960	702,000	2,812,000	△ 384,000	1,761,000	8,653,440
	小計	73,000	1,239,964	1,186,480	148,000	1,708,430	744,650	3,471,355	△ 362,909	2,490,638	10,699,608
ソフト事業	一般会計	16,784	33,276	24,857	0	3,520	0	3,500	0	4,858	86,795
	下水道事業会計		4,000	12,000	0	3,000	0	8,000	0	3,000	30,000
	小計	16,784	37,276	36,857	0	6,520	0	11,500	0	7,858	116,795
合計		89,784	1,277,240	1,223,337	148,000	1,714,950	744,650	3,482,855	△ 362,909	2,498,496	10,816,403



防災行政無線整備事業 2億1864万円

P. 33

多様な手段で、迅速に避難情報を伝達し、災害時の的確な避難行動を促進します。

設備の老朽化や無線規則の改正に伴う法令適合の課題を踏まえ、アナログ式防災行政無線をデジタル式防災行政無線へと更新します。また、スマートフォンの普及など、情報取得手段の多様化に対応するため、新たに「防災アプリ」の整備を行います。

平成31～32年度 継続費の額 5億4660万円



屋外スピーカーなどに加え、携帯電話の音声・文字表示により災害情報を共有

整備予定の防災アプリの特徴

- ・天候などに左右されず情報取得が可能
 - ・細かなエリア単位での配信が可能
 - ・緊急時には自動起動で受信
 - ・文字通知＋音声放送が可能
- ⇒ 戸別受信機の代替となる機能を備える

平成31～32年度 継続費による主な整備内容

- 親局設備(送受信装置、操作卓、付帯設備)
- 中継局、簡易中継局、再送信子局
- 屋外拡声子局 + モーターサイレン
- 有線放送、エリアトーク連携設備
- 防災アプリ



内水対策事業 2450万円

P. 23

近年の度重なる内水被害を軽減
大江町河守・公庄地区の内水対策に着手します

近年において度重なる内水被害が発生している由良川沿川地域において、被害軽減対策に着手します。

(主な取組)

- ◆大江町河守・公庄地域において排水ポンプ、調節池、排水路などの施設配置最適化計画を国・府と連携して策定
- ◆上記計画を踏まえ、河川・水路改修などの調査・設計に着手
- ◆国・府の設置状況も踏まえ、市管理河川の必要な流域において危機管理型水位計を設置



総合的な治水対策PR事業 100万円

P. 27

総合的な治水対策の仕上げの年
水害に負けないまちを全国にPR

平成27年度から国・府・市が協調して進めてきた「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策」の最終年度を迎え、シンポジウムや現地見学会を実施するとともに、「福知山PR戦略総合推進事業」とも連携して、全国に福知山市の治水対策をPRします。

新規

避難のあり方検討事業 48万円

P. 29

平成31～32年度で実施
災害の経験を活かした実効性の高い避難のあり方を検討します

災害の頻度が高くなってきている中、近年の災害事例について研究・検証し、自助、共助、公助の観点から、避難のあり方全般について検討を行い、新たな避難の仕組みを構築していきます。

(主な取組)

- ◆「避難のあり方検討会」の立上げ・検討
- ◆災害時の避難等に関する調査・分析

新規

防災教育推進事業 146万円

P. 28

自助の力で速やかな危険回避
自らの命を守る力を育成します

小学1年生から中学3年生までの児童生徒に「自らの命を自らで守る」ために考え、行動する力を育成することを目的に、地域の人達とも連携しながら、実践的なカリキュラムのもと防災教育を推進します。

(主な取組)

- ◆「学校における防災教育のあり方検討会議」の設置・防災教育カリキュラムの作成
- ◆防災リーフレットの作成

継続

自主防災組織地域版防災マップ作成事業 139万円

P. 31

すでに91組織でマイマップを作成
全国に誇る先進的な取組です

自主防災組織が地域で独自に取り組む、地域ごとの災害リスクや避難方法等を反映した地域版防災マップ(マイマップ)の作成について、継続して支援を行います。

(主な取組)

- ◆各地域で実施されるワークショップへの市職員の参加
- ◆マイマップ印刷等にかかる経費を支援



ワークショップの様子



マイマップの例

継続

消防車両更新事業 1億5453万円

P. 35

最新の機能を備えた消防車両により消防力を強化
災害・火災の最前線で市民の命と財産を守ります

平成30年度から平成32年度にかけて、老朽化した消防団車両を計画的に更新しているところです。

また、平成31年度においても危険物施設への火災出動をはじめとした各種災害出動に、安全かつ迅速に対応するため化学車及びタンク車を更新します。

(平成31年度の主な整備内容)

- ◆消防団小型動力ポンプ付積載車更新(10台)
- ◆化学車更新(化学車とタンク車を1台に統合して更新)



工場火災で威力を
発揮する化学車

継続

消防団施設整備事業 5257万円

P. 36

地域の防災力の要である消防団施設を整備
浸水被害を受ける消防団詰所を適地に移転します

消防団員の活動拠点となる消防団車庫・詰所などを整備し、防災体制に万全を期すとともに、災害現場活動に取り組む消防団員の処遇改善を図ります。

(平成31年度の主な整備内容)

- ◆川合分団統合車庫・詰所の新築
- ◆有路下分団統合車庫・詰所建設に伴う有路下プール解体
- ◆消防車庫・詰所の設計 2か所(庵我分団、河東分団)

継続

民間施設ブロック塀等緊急安全対策支援事業 300万円

P. 39

地震安全対策
通学路の安全確保を進めます

平成30年6月に発生した大阪北部地震では、多くの民間施設ブロック塀が倒壊し、全国においてその対策が急務となっており、本市においても倒壊等による災害を未然に防止するため、その除却費の支援を行います。

(補助の対象となる施設)

- ◆道路等に面して設けられている高さが80センチメートル以上のブロック塀等で点検票により不適合と認められたもの(ただし、通学路等を優先に対象とします)

新規

乗合タクシー導入モデル事業 97万円

P. 37

平成31年度に実証実験を実施
交通不便地域の新たな交通手段を検証します

福知山市地域公共交通網形成計画の基本方針に基づき、路線バス再編による補完交通として、また、公共交通の利用が困難な交通不便地域における交通ネットワークとして、地域が主体となって取り組む乗合タクシー事業に対して、モデル事業として支援します。

- ◆実証実験予定箇所数 2か所（下豊富地区、金山・雲原地区での導入を予定）
- ◆想定する運行形態 定時定路線のデマンド型乗合タクシー
（予め決まった時刻に決まった路線を予約があった場合のみ運行する方式）
- ◆支援内容 運行計画の立案、導入に向けた運行事業者等との調整、運行費用の支援等

継続

地域コミュニティ交通導入モデル事業 200万円

P. 38

愛称は「みわ ひまわりライド」
他地域での展開についても更なる検討をします

公共交通空白地有償運送事業の導入を推進するため、支援内容や適正な運行のあり方について検証を行うことを目的に平成29年10月から三和地域においてモデル事業を実施しています。

平成31年4月からは、市バスの運行見直しやスクールバスの一般混乗を導入し、また、三和地域での商業施設のオープンなどの要因がある中、個別移送への転換状況や課題等を検証し、他地域での展開についてさらなる検討を行います。



「みわ ひまわりライド」で使用されている
三和地域協議会所有の車両

3-2 医療・介護・福祉の更なる充実

拡充

地域包括支援センター運営事業 3426万円

P. 198

中学校区に再編してよりきめ細かな支援をスタート！

拡充

生活支援・介護予防サービス基盤整備事業 1851万円

P. 198

支援コーディネーターがサポート！

地域包括支援センターをこれまでの6箇所から9箇所に拡充、あわせて「介護あんしん総合センター」を新設します。

在宅生活を送る要介護者及び介護をする方を支援する地域包括ケアの充実を図ります。

(新たな在宅介護支援の取組)

地域包括支援センター拡充

◆要介護者及び介護者の疑問・悩みに対して専門職による身近な相談体制を充実

◆9箇所の包括支援センターに支援コーディネーター配置し在宅介護を支える地域の協力体制を促進

介護あんしん総合センター新設

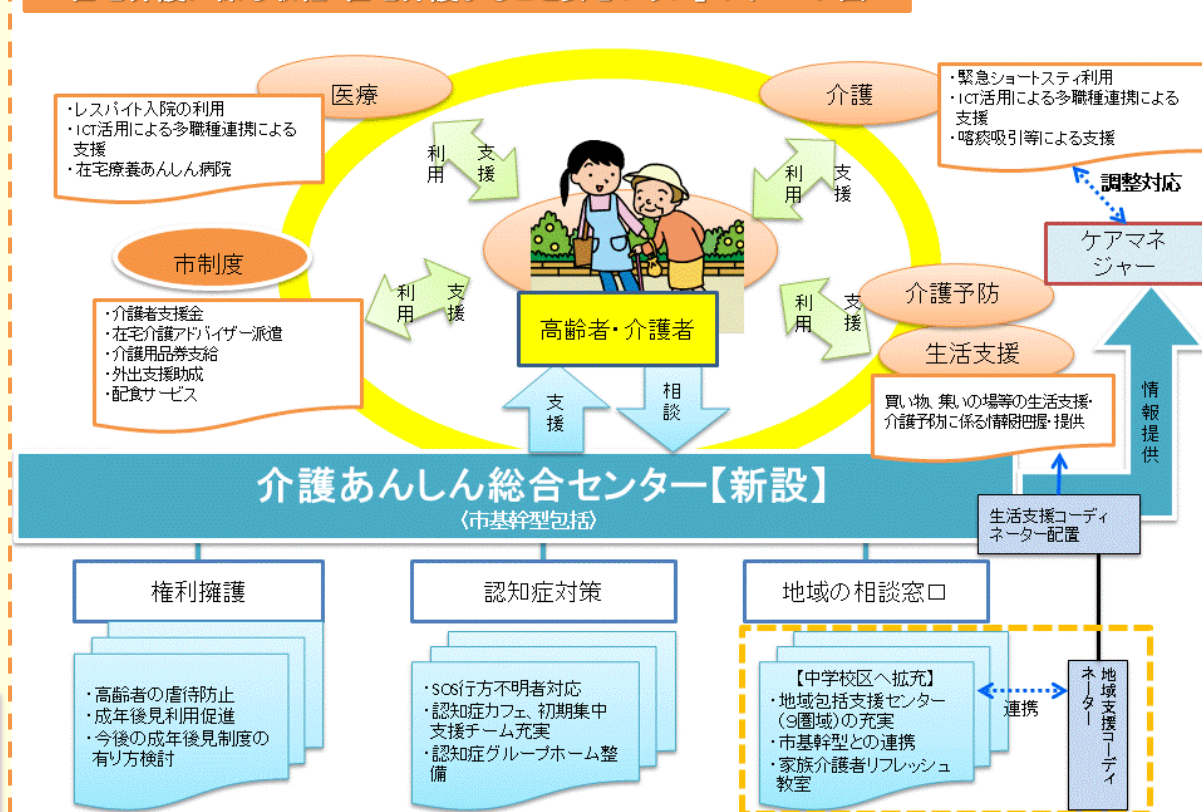
◆医療介護連携による介護者の身体的・精神的負担軽減(レスパイト(休息))のための緊急ショートステイ等利用にかかる情報提供・調整

◆認知症高齢者に対する支援、高齢者の権利擁護(成年後見制度利用促進のための必要な援助、高齢者虐待対応)の窓口の一本化



地域包括支援センターの窓口

在宅介護に係る取組「在宅介護まごど安心プラン」のイメージ図



拡充

継続

介護者支援事業 253万円 P. 55

医療介護連携対策事業 83万円 P. 54

安心して介護ができるよう支援を充実
多職種連携により適切な介護を実現
「在宅介護まるごと安心プラン」の取組として進めます

「介護者支援のあり方検討会議(平成29～30年度)」の議論や「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン」を踏まえ、介護職の医療的ケアへの対応や在宅の要介護者を支える医療介護の多職種連携の促進をはじめ、介護者支援にかかる総合的な取組を展開していきます。

(主な取組)

- ◆要介護4以上の高齢者を在宅で介護している家族へ介護者支援金を給付(所得要件あり)
- ◆介護・看護の専門職を在宅介護アドバイザーとして自宅に派遣
- ◆「はじめての介護者向けパンフレット」の作成【新規】
- ◆家族のレスパイト(休息)対策の実施【新規】
- ◆介護職員の医療的ケアの技能習得に向けた研修受講に対して補助
- ◆在宅療養者に関わる医療・介護等のスタッフの即時情報共有を進めるためのタブレット購入に対して補助



新規

高齢者世帯見守り事業 193万円 P. 57

高齢者世帯を地域で支える
「ほっ」とする品と一緒に訪問します

高齢者の日頃の孤独感や疎外感を緩和し、地域とのつながりを感じてもらえるようにするため、また地域での社会参加を促し、災害時等においても円滑に地域内連携が図られるよう、民生児童委員によって見守りや支援が必要な一人暮らし高齢者や高齢者世帯の自宅への訪問を行います。

(主な取組)

- ◆民生児童委員が訪問する際の品物及び地域活動への参加のきっかけとなるようなチラシを提供・配布



新規

(仮称) オレンジのまちづくり推進事業 40万円

P. 42

各取組をさらに推進
福知山をオレンジ色で幸せに！

現在、福祉のまちづくりとして本市で取り組んでいる「認知症サポーター」、「子ども虐待防止」、「あいサポーター」については、いずれも「オレンジ」がイメージカラーとなっており、これらを一体的に推進することで相乗効果の発現を目指す「(仮称)オレンジのまちづくり推進事業」を展開します。

- (主な取組) ◆福祉のまちづくり講演会等の開催
◆(仮称)オレンジのまちづくり推進事業検討会議の設置
◆ロゴマークの募集

子ども虐待防止
オレンジリボン



あいサポーター
バッジ



認知症サポーター
オレンジリング

拡充

病院事業 152億5250万円

P. 203

高度な医療ニーズにもしっかり対応
市民の命と健康を守る地域の病院がますます充実します

市民病院は地域の中核病院として、福知山市域のみならず広域化する医療ニーズに対応するために、呼吸器内科に常勤医を配置するなどさらなる医療機能の充実に努めます。

また、新型MRI装置を導入し医療提供体制を強化します。

(平成31年度の主な施設整備)

- | | | |
|------------|------------------------------|----------|
| ◆施設整備事業 | 新型MRI装置の導入に伴う医療機器設備
移設業務他 | 4390万円 |
| ◆医療機器等整備事業 | 新型MRI装置の導入他 | 6億9282万円 |

H31.1.4治療開始
の最新型リニアック
整備に続き、H31
年度に導入を予定
している新型MRI
装置



継続

子育て総合相談窓口事業 134万円

P. 40

妊娠期から子育て期の子ども・家庭をフルサポート！
ハピネスふくちやま1階に総合窓口設置中

継続

子育て世代包括支援センター事業 517万円

P. 40

平成30年4月に開設した「子育て総合相談窓口」において、子育てにかかる手続きのワンストップサービスを継続するとともに、家庭訪問等のアウトリーチ型支援や子どもが通学する学校等の関係機関との連携などにより、子どもと保護者への充実したサポートを実施します。



H30.4オープンの子育て総合相談窓口

拡充

京都子育て支援医療費支給事業 1億3675万円

P. 43

子ども医療費にかかる
京都府制度の支援拡充

京都府制度により、乳幼児と児童の医療費について医療費の一部を公費で負担します。

(1) 入院外 0歳から3歳未満まで 1医療機関につき月200円の自己負担で受診

(2) 入院 0歳から中学3年生まで 1医療機関につき月200円の自己負担で受診

【拡充内容(平成31年9月診療分から)】

3歳から中学3年生を対象に、1か月間の各医療機関での支払い合計額が1,500円を超えた分を公費で負担



府制度の拡充と合わせて市の子育て支援をさらに充実

拡充

ふくふく医療費支給事業 5843万円

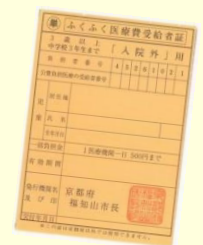
P. 44

市の単独支援を充実
非課税世帯の自己負担ゼロは府内の市では初！

3歳から中学3年生までの子どもの入院外の医療費について、1医療機関
1日500円の自己負担で受診できるよう医療費を助成します。

【拡充内容(平成31年9月診療分から)】

住民税非課税世帯の0歳から中学3年生までの子どもの入院・入院
外医療費の自己負担分を無料とし、経済的負担を軽減



継続

拡充

保育所委託事業 22億8562万円

P. 49

民間保育所運営事業 2億953万円

P. 50

処遇改善で保育士を確保
安心して働ける子育て環境をつくります

民間認可保育所に保育の実施を委託し、またその運営のための補助を行います。

【拡充内容】

3歳児クラスの加配保育士の人件費に対して国の給付額に上乗せ補助を
行い、保育士の処遇を改善



3-3 シティプロモーションの更なる展開

新規

福知山光秀プロジェクト推進事業 1億316万円

P. 62

2020年1月からいよいよ「麒麟がくる」放送
大河ドラマ観光客をおもてなし

2020年の大河ドラマが明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、平成30年9月に設立された「福知山光秀プロジェクト推進協議会」を核に、構成団体の各々の得意分野を活かしてオール福知山で、本市を訪れる方々をお迎えします。

(主な取組)

- ◆福知山光秀プロジェクト推進協議会による受入体制整備
- ◆観光バス乗降場の整備

福知山城所蔵の歴史資料



『本能寺焼討之図 真書太閤記』

<大河ドラマ館について>

美術館2階を改修し、2020年1月から大河ドラマ館「福知山光秀ミュージアム(仮称)」をオープンする予定です。



右田年英作 武者絵
『明智光秀』

光秀プロジェクト推進協議会による主な取組

福知山光秀ミュージアム(仮称)展	佐藤太清記念美術館の2階で、大河ドラマ「麒麟がくる」及び明智光秀に関する資料を展示
光秀連続講座	明智光秀に関連した連続講座を開催
観光客の周遊対策	商店街等と連携したクーポン等の作成などによる、まちなか散策への誘導
自治体連携ホームページ製作	明智光秀にゆかりのある他の自治体との共同HPの製作・運営
ふるさと祭り出展	「ふるさと祭り東京」での「福知山踊り」による本市のPR
ガイド養成研修	おもてなし役となるガイドの養成
土産物販売	ゆらのガーデンでの土産物店を設置・運営

拡充

福知山城観光誘客強化事業 3956万円

P. 64

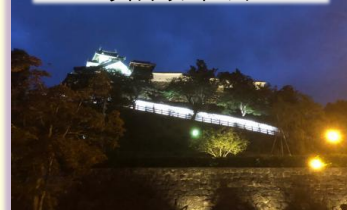
福知山城の魅力をさらにUP
ドラマ放送期間だけで終わらないレガシー化を目指します

2020年の大河ドラマの放送を契機として「明智光秀が築いた城下町 福知山」をPRするため、福知山城の魅力を強化します。

(主な取組)

- ◆館内展示ケースの内装の改修及び大河ドラマにあわせた展示品のリニューアル
- ◆「福知山光秀ミュージアム(仮称)」と連携した、明智光秀関連の特別展示の実施
- ◆高圧受電設備の改修及び夜間ライトアップ設備の増設

H30.9に実施された福知山城の
ライトアップイベント





観光案内看板（道路サイン）整備事業 1390万円

P. 65

観光客を目的地に的確に誘導
中心市街地では楽しく見所を案内します

街なみ環境整備事業 918万円

P. 66

NHK大河ドラマの放送やワールドマスタースゲームズ2021関西の開催を控え、市外から福知山城などへ観光客を誘導するため幹線道路沿いに案内看板を増設します。

中心市街地においては歩行者向けに、市の見所等をQRコードなども利用しながら案内する表示板を整備します。

また、駅正面通りでの修景整備に対して補助を行います。



車両向け道路サイン(上)と歩行者向け案内表示(右)のイメージ



福知山PR戦略総合推進事業 2822万円

P. 59

福知山の魅力を戦略的に発信
ドッコイセ大使も大活躍!

平成30年11月の福知山城での将棋「竜王戦」開催や、平成31年2月のクリス・ペプラーさんの「明智光秀が築いた城下町 福知山」特別大使就任に引き続いて、「知られざる明智光秀プロジェクト」などのPR活動を行い、全国に向けて一層の福知山の魅力発信を行います。

また、ドッコイセ大使等によるプレミアムスイーツイベントや料理を通じての「福知山×明智光秀」の首都圏でのPR、福知山の学校給食メニューの考案など、食を通じた多様な取組によって福知山の魅力をPRするとともに郷土愛の醸成を図ります。

(主な取組)

- ◆特別大使クリス・ペプラーさんによる情報発信
- ◆福知山城活用プロジェクト(こども将棋大会、城主体験)
- ◆明智光秀イメージ調査
- ◆小中学生向けの明智光秀にかかる冊子作成
- ◆メディアやインフルエンサーを通じた情報発信
- ◆ドッコイセ大使×食を通じた福知山のPR



H30年11月
将棋「竜王戦」を開催



ドッコイセ大使考案の
学校給食メニュー



明智光秀の末裔とされ、関東圏を中心にタレント・DJとして活躍されているクリス・ペプラーさんがH31年2月に特別大使に就任

継続

福知山観光地域づくりセンター運営事業 878万円

P. 67

観光により地域の元気作り
婚活支援と連携した取組にも挑戦します

観光地域づくりセンターを核として、地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な地域づくりを推進します。

また、京都府が運営する「きょうと婚活応援センター」との連携により、婚活と絡めた地域づくりも進めます。

(これまでの主な取組)

- ◆大原地区 大原ふるさとウェディングプロジェクト
- ◆上六人部地区 農家民泊事業の推進
- ◆三岳地区 地域のサークル活動・地域産品をアップデート



大原地区 フォトウェディング

拡充

移住・定住促進事業 1937万円

P. 75

全国に福知山の魅力を発信
移住・定住・関係人口の増加で地域を元気にします

「子育て移住」「まちなか暮らし」「農のある暮らし」を新たにターゲット層に設定し、本市の魅力や施策を効果的に発信していくことで、移住・定住・関係人口の増加を目指します。

(主な取組)

- ◆移住希望者、移住者に関する相談支援・情報発信
 - └情報誌、ホームページ、SNSなど多様なメディアで発信
 - └関係人口の増加を図る「ふくちやまワークステイ」の実施【新規】
 - └移住希望者のニーズに応じるセミオーダー型体験ツアーの継続
 - └大都市圏での移住フェア等へのブース出展
- ◆空き家バンク活用支援
- ◆東京圏からの移住者への支援を行う「わくわく地方生活実現政策事業」の実施【新規】
- ◆婚活・出会いの場創設に関して地域団体等への側面支援の実施

移住希望者のニーズに合わせた日程や行き先が選べると好評の「セミオーダー型体験ツアー」を継続して実施



セミオーダー型 福知山移住 FUKUFUKU LIFE 体感ツアー

主な支援制度	支援内容	支援額等
わくわく地方生活実現政策事業	東京圏からの移住者に支給	単身者：60万円 世帯：100万円
空き家バンク事業	空家改修費補助	補助率1/2 上限100万円
	空家清掃費補助	補助率1/2 上限10万円
	空家仲介手数料補助	売買：補助率1/2 上限20万円 賃貸：補助率1/2 上限5万円
農村型小規模多機能自治推進事業	府移住促進条例地域の空家改修費補助	補助率10/10 上限180万円
	府制度の該当経費への補助	補助率1/2～2/3

拡充

国際大会開催準備事業 1億1269万円

P. 70

WMG2021関西の開催まであと2年
2020年にはインターハイソフトテニスも開催されます

ワールドマスターズゲームズ2021関西の本市での開催に向け、三段池公園の整備と市内のテニスコートの集約化を進めます。

また、市民のスポーツに対する機運を盛り上げるための取組を進めます。

(主な取組)

- ◆三段池公園テニスコートの2面増設【新規】
- ◆市民の健康づくりや生涯スポーツの振興と機運の醸成を目的に住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2019」を実施【新規】



WMG2021関西の福知山市開催に向けて増設整備する三段池公園テニスコート

拡充

体育施設設備整備事業 1233万円

P. 71

福知山市初のネーミングライツパートナーが決定！
市民球場の愛称は「福知山SECカーボンスタージアム」に

既存体育施設の適切な整備を行い、利用者の利便性、安全性の向上を図ります。

福知山市民運動場野球場(平成31年4月からの新愛称「福知山SECカーボンスタージアム」)では、ネーミングライツ料を活用して修繕を行います。

(主な取組)

- ◆福知山市民運動場野球場スコアード修繕【新規】
- ◆第4種公認陸上競技場(桃映中学校運動場)継続検定にかかる整備【新規】



ネーミングライツ料を活用して表示灯などの修繕を実施する市民運動場野球場のスコアード

新規

拡充

トップアスリート育成支援事業 420万円

P. 73

福知山からトップアスリートとトップアーティストを！

市民文化活動推進事業他文化振興関連事業 524万円

P. 74

本市のスポーツ・文化振興に資するため、将来のトップアスリート・アーティストの育成と交流促進による競技力や技能等の向上を図ります。

- (主な取組)
- ◆全国大会出場者派遣費助成(ジュニア文化・スポーツ)
 - ◆ジュニア育成大会運営補助(スポーツ)



H29ジュニアオリンピックに出場した志水選手(桃映中当時)

継続

中心市街地誘客・回遊促進事業 60万円 P. 68

継続

「肉のまち福知山」事業 180万円 P. 69

平成30年度に続き「福知山まちなかフェスティバル」として、中心市街地エリアの複数の拠点においてイベントを同日に一体的に開催し、集客を促進します。

複合的な肉文化が存在していることを背景に、「肉のまち福知山」を本市の観光コンテンツとして発信し、観光誘客や地域経済の活性化を図る「福知山肉まち協議会」によるイベントも連動して開催します。

<平成30年度の来場者数>

福知山まちなかフェスティバル	5,000人
福知山MEET×MEAT	7,000人

好評の平成30年度イベントを継続
「肉」でまちにも体にも活力を！



3-4 教育・産業・雇用がつながるまち

拡充

拡充

新規

大江地域学校統合整備事業 2億7995万円

P. 76

複式学級を解消し統合校において充実した教育環境を整備します

六人部小学校統合整備事業 1億4886万円

P. 77

遷喬・佐賀小学校統合整備事業 735万円

P. 78

平成33年4月の大江地域小中一貫教育校開校に向けた校舎の増改築等を行います。

六人部小学校においては、平成30年4月の上・中六人部小学校との統合に伴う、教室棟の増築等を行います。

平成32年4月の佐賀小学校の遷喬小学校との統合に向け、遠距離通学となる児童を支援するため、スクールバス購入等の準備を進めます。

小中一貫教育校の開校を目指す大江中学校



購入予定と同型のスクールバス

新規

昭和小学校施設増改築事業 700万円

P. 79

2022年には全国小学校家庭科教育研究会全国大会を昭和小学校等で開催
給食配膳室も整備し適切な衛生環境を確保します

昭和小学校において、老朽化の著しい家庭科室及び給食配膳室を既存校舎北側のスペースへの増築により整備します。

平成31年度は、増築にかかる実施設計を行います。

2018年全国小学校家庭科教育研究会全国大会(岡山大会)公開授業の様子



拡充

プログラミング教育開発推進事業 25万円

P. 81

全小学校に拡大して実施
論理的な思考力を育成・強化します

平成32年度からの必修化に先立ち、平成30年度は推進校9小学校の3年生4年生を対象として、先行的に授業等を実施しました。

平成31年度は、小学3年生から6年生までの全ての児童を対象として、プログラミング教育を実施していきます。

(主な取組)

- ◆ロボット教材を活用したプログラミング教育の実施【拡充】
- ◆教職員の指導力向上研修の実施
- ◆福知山市独自の指導計画の作成と検証



授業で使用する
ロボット教材と
タブレットPC

拡充

※幼稚園一般管理事業に含む

幼稚園「食の勉強会」事業 9万円

P. 82

親子クッキングも開催
親と子で「良い食」について考え体験します

幼稚園の保護者からは、お弁当を作ることとが大切な子どもとのつながりと考えている声が多く聞かれます。

一方で、子どもにとって良いお弁当をどのように作れば良いのかといった知識を得たいとの声も多く、平成30年度に実施した「食の勉強会」を、外部講師の協力を得ながら市内公立幼稚園(3園)で実施します。



H30年度「食の勉強会」(昭和幼稚園)

継続

福知山公立大学運営費交付金事業 2億7925万円

P. 83

福知山公立大学は新学部「情報学部」の設置に向けて加速！

継続

「知の拠点」推進事業 2571万円

P. 84

京都工芸繊維大学福知山キャンパスは平成30年10月から始動！

福知山公立大学においては、平成31年度は約450名の学生が学ぶ「地域経営学部」の教育研究とあわせ、2020年の開設を目指す「(仮称)情報学部」の設置準備(※)を進めます。

また、「知の拠点」整備構想に基づき、福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパスを中核とする「知の拠点」づくりのため、北近畿の各界との地域連携・地域協働活動の充実を図ります。

※(仮称)情報学部設置に向けては、平成30年度の補正予算として3月定例会に提案する1号館及び3号館の改修工事費6億3500万円と合わせて設置準備を進めます。



拡充

再エネ・省エネ推進事業 1129万円

P. 90

再エネ・省エネで持続可能な社会づくりに貢献
地球環境に優しい福知山市を目指します

全国の自治体において自治体SDGs(※1)の取組が求められる中であって、福知山市においても一層の再エネ・省エネの取組を推進し、エネルギーと経済の域内循環システムを構築していきます。

(主な取組)

- ◆「COOL CHOICE(※2)」推進の枠組みを利用したCO2削減の啓発活動を実施【新規】
- ◆施設においてCO2削減ポテンシャル診断を実施【新規】
「まずは、省エネ効果が大きいと見込まれる市の施設から実施します。」
- ◆太陽光発電設備及び蓄電設備の同時設置者への購入助成
- ◆雨水貯留槽設置費補助



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

※1 SDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称であり、先進国を含む国際社会全体の開発目標として設定された包括的な目標のこと。「自治体SDGs」とは、「地方公共団体におけるSDGsの手法を取り入れた取組」のことであり、平成29年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」において、地域創生の一層の促進を図るためにもその推進が重要であると位置づけられているものです。

※2「COOL CHOICE」とは、政府が進める低炭素型の商品・サービスの利用といった賢い選択を促す国民運動のこと。

拡充

福知山市産業支援事業 3147万円

P. 89

産業支援センターを産業支援の核として機能拡充
さらに頼れる「ドッコイセ！biz」に進化します

あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために福知山産業支援センターを運営します。

センター開設後、1年間の相談実績は947件で、相談者の約8割がリピーターとして複数回相談に来られています。また、昨年12月からITアドバイザーを必要に応じて依頼するなど、体制の強化にも取り組んでいます。

(主な取組) ◆センター相談業務

- ◆金融機関と連携しての小規模事業者向け商談会の開催【新規】
- ◆6次産業化推進にかかる商品価値向上セミナーの開催【新規】



産業支援センターでの相談

拡充

稼げる農業応援事業 1022万円

P. 93

平成30年度は1者がGAP認証を取得
ブランド化で福知山の農業の収益力を強化します

福知山ならではの農作物等を新たに掘り起こし、「ふくちやまのエエもん」として地域内外に発信することで、収益力のある特産物を育成します。平成30年度には、4品の魅力ある商品を「ふくちやまのエエもん」として認定しました。

また、農業競争力の強化のためGAP認証を新規に取得しようとする、意欲ある農業者を支援することで収益力のある農業者の育成を図ります。

(主な取組)

- ◆ふくちやまのエエもん発掘と商品認証
- ◆ふくちやまのエエもん認証商品の商談会出店による販路開拓支援【新規】
- ◆GAP認証新規取得支援のための補助を実施
- ◆エコファーマー・GAPの取組を行う農業者に対し学校給食地場野菜導入に係る補助を実施



<GAP認証マーク>
GLOBAL GAP(上)
ASIA GAP(左下)
J GAP(右下)



継続

「スイーツのまち福知山」事業 604万円

P. 95

「丹波くり」の生産拡大を後押し
スイーツでまちを元気にします

「スイーツのまち福知山」を目指して、「丹波くり」の生産拡大とブランド力強化を図るとともに、PRイベントを開催します。

- (主な取組) ◆『スイーツの森づくり』を推進するため、栗の新植・改植等を支援
- ◆「丹波くり」を使用した「スイーツコンテスト」を開催
 - ◆「福知山スイーツフェスティバル」を開催



大粒で美しい「丹波くり」



森林経営管理事業 1249万円

P. 97

森林環境譲与税を活用した新たな森林管理がスタート
安全な森づくりで豪雨時の被害を軽減します

安心・安全の森づくり事業 2933万円

P. 100

平成31年4月に施行される森林経営管理法により、新設された森林環境譲与税を活用した新たな森林経営管理制度が始まります。

新たな森林経営管理制度に基づき市域内の対象森林における意向調査等を実施します。

また、豪雨等による山地からの流木・土砂の流出や、林地崩壊等の被害の軽減に向けた取組を進めます。

(主な取組)

- ◆ 森林環境譲与税を活用し、対象森林の所有者に対し、森林の経営管理に係る意向調査を実施
- ◆ 意向調査後の対象森林の現況調査を実施
- ◆ 人家等へ流出した流木・土砂等の撤去を実施する地域活動を支援
- ◆ 林道・作業道の維持管理
- ◆ 治山施設の流末水路を整備



整備の行き届いた森林

継続

丹波漆活用事業 236万円

P. 101

国産漆としても良質な丹波漆をPR
認知度向上とブランディング、生産拡大の両面の取組を進めます

平成30年度に制作したPR作品やレンタル漆器等を活用し、展示会等において各種普及活動を漆振興実践団体と協働で実施し、丹波漆のブランド化を図ります。

(主な取組)

- ◆ 流通関係者が集まる展示会等への出品・PR
- ◆ アドバイザーの指導を得て商品開発・企画・販売戦略作成を実施
- ◆ 生産拡大のため苗木の購入、漆植栽、獣害防止柵の設置支援
- ◆ レンタル漆器の市民への貸出



H30制作 村山明氏作品
「櫛拭漆器桔梗文盛器」



貸出用レンタル漆器



長田野工業団地利活用増進事業（道路環境整備） 1000万円

P. 87

長田野工業団地の環境整備を計画的に実施します

長田野工業団地利活用増進事業（緑地等環境整備） 1124万円

P. 88

平成30年6月に策定した「長田野工業団地利活用増進計画」に基づき、安全な交通環境の確保と維持管理費の削減のため、工業団地内道路の樹木伐採を計画的に進めます。

また、樹木の繁茂が著しい工業団地の周囲を囲む緩衝緑地等において、倒木等の危険性を除去するために今後10年間をかけて計画的に伐採を行います。

今後の事業の推進にあたっては、工業団地内の公園用地を企業に有効利用いただくことで得られる使用料を基金に積み立て、団地内環境整備に活用していきます。



繁茂する街路樹（落葉樹）



緩衝緑地からはみ出る樹木

継続

企業誘致促進特別対策事業 7199万円

P. 86

U・Iターン者雇用支援を継続
操業支援・企業誘致対策で福知山市の産業・雇用・経済を支えます

継続

アネックス京都三和企业誘致対策事業 313万円

P. 85

市内既存企業の設備投資など事業の継続・拡大に向けた取組を支援し、域内定着と生産性の向上を図ります。
また、本市へのU・Iターン者雇用へ支援を継続し、充実した企業誘致への支援により、新たな雇用の創出や域内経済の活性化を図ります。



平成28年度から工場立地が順調に進む
「長田野工業団地アネックス京都三和」
28区画のうち18区画が売却済（H31.2現在）

【主な操業・誘致支援】

（万円）

目的	支援内容	予算額
操業支援	工場等新設奨励金	230
	雇用奨励金	340
	固定資産税（建物等）の免除	3年間免除
企業誘致促進	工場等新設奨励金	5,146
	雇用奨励金	1,395
	U・Iターン雇用奨励加算金	30

拡充

有害鳥獣捕獲事業 7070万円

P. 99

野生鳥獣から農作物を守る！
より有効な駆除・防除対策の研究にも着手します

シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害は統計上、年間3,481万円ですが地域の営農意欲を大きく減退させています。

野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除及び捕獲を実施します。

また、シカの生息・管理に関する研究・実践の先駆的機関である兵庫県立大学(自然・環境科学研究所)と連携し、今後の有効な駆除・防除対策の研究を行います。

(主な取組)

- ◆ 駆除隊による駆除・捕獲の実施
- ◆ 駆除隊員への捕獲奨励金、出動手当等の支給
- ◆ 府県境における広域捕獲及び緊急捕獲活動の実施
- ◆ 狩猟免許取得費用への支援
- ◆ 銃器による有害鳥獣の駆除に必要な無線機の導入費への支援
- ◆ ニホンジカ生息調査及び有害鳥獣の有効な駆除・防除対策の研究【新規】



捕獲檻によるシカの捕獲

3-5 市民とともに作る経営力の高い市政

拡充

地域づくり組織支援事業 2964万円

P. 102

新たな地域づくり組織の立上げにも支援
住民の力でより良い地域に！

福知山市自治基本条例に基づく包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動及びその設立に対して、必要な支援を行います。

(主な取組)

- ◆既存の地域づくり組織の活動に対して交付金を交付
- ◆新たに地域づくり組織を設立しようとする組織に対して準備経費を支援【新規】
- ◆自立した地域づくりについて学ぶ機会として講演会等を開催



夜久野みらいまちづくり協議会の様子

拡充

広域連携推進事業 266万円

P. 112

京都府北部7市町の連携をさらに推進
府県域を越えた丹波市・朝来市との連携も強化

近隣市町や京都府その他府県と連携し、その圏域全体として必要な生活機能や課題に対し効率的かつ効果的な施策を展開するため、各自治体の弱みを補い、かつ強みを伸ばす広域連携の仕組みづくりを進めます。

(主な取組)

- ◆京都北部地域連携都市圏における人的交流も含めた連携事業の推進【拡充】
- ◆連携ビジョン策定も視野に入れた丹波市・朝来市との連携の取組拡充【拡充】



京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会



丹波市・朝来市との首長会議

新規

SNS事業者との連携推進事業 360万円

P. 109

包括連携協定を締結予定！
子育て支援等への活用を進めます

本市の情報発信ツールとしてシステムを活用しているLINE株式会社との間で、連携と協力に関する包括協定を締結します。

協定後は子育て支援や防災、キャッシュレス決済、大河ドラマのPRも含めた観光といった幅広い分野において、市民の利便性の向上や課題解決、地域活性化にSNS事業者の強みを活かしながら連携して取り組みます。

(平成31年度の取組内容)

- ◆SNSツールの特性を活かした子育て相談機能にかかるシステム開発など



新規

総合計画策定事業 771万円

P.111

2021年度からの次期計画の策定に向けて始動
「新時代 福知山」の羅針盤とします

2021年3月までを計画期間とする現在の「未来創造 福知山」における取組の課題等を検証するとともに、市民の意見を踏まえ、必要とされるニーズを把握しながら、将来の社会経済環境の変化にも対応する持続可能な新たなまちづくりの指針として、2021年度からの次期総合計画策定に向けた準備を進めていきます。

(主な取組)

- ◆市民アンケート調査の実施
- ◆地域別懇談会、市民ワークショップ等の実施

(2020年度の予定)

- ◆総合計画審議会での審議
- ◆パブリックコメントの実施
- ◆市議会への議案提出



現行計画「未来創造 福知山」

継続

行財政経営マネジメント推進事業 236万円

P.113

全事業の棚卸しは最終年度
総括とともにその後のマネジメント手法を検討します

平成28年度から進めている全事業の棚卸しを継続して実施するとともに、一部を公開事業検証として実施します。

平成31年度の実施をもって全事業の棚卸しを完了することとなり、その総括を行います。

年度	事業棚卸し実施事業数	うち公開事業検証
平成28年度	132事業	28事業
平成29年度	386事業	27事業
平成30年度	400事業	13事業
平成31年度	200事業程度	15事業程度

拡充

平和・人権の輪つながり広がり事業 172万円

P. 105

「平和のまち 福知山」
世界的な平和の視点も育みます！

2020年に戦後75周年の節目の年になることを踏まえて、平和の大切さを訴えていくとともに、平和について発信できる人材育成に取り組みます。

(主な取組)

- ◆子どもを対象に世界の内戦や貧困問題等、平和に関する学習を2ヵ年計画で実施【新規】
 - └講演会・外部講師による学習会、学習した若者によるパネルディスカッション等を予定
- ◆平和に関する派遣研修
 - └市内在住・在勤の高校生等を長崎、沖縄に派遣し、現地において戦争や平和について学習
- ◆人権の輪つながり広がり事業
 - └人権・平和学習に参加する小・中学生、高校生どうしをつなぐ学習や交流会を実施



世界の平和学習
を行います
(写真は国境なき医師団の活動風景)



拡充

国際交流事業 49万円

P. 107

改正出入国管理法は平成31年4月施行
多文化共生社会を見据えて取組を拡充します

全国的に増加が見込まれる外国籍の方との交流や地域への受入について、これまで本市で行ってきた交流事業に加え、京都府や公立大学等の関係機関と連携し、多文化共生の視点に立った施策を展開します。

(主な取組)

- ◆外国籍の方との交流や学習目的の多文化交流会を開催
- ◆国際理解に係るセミナーを実施【新規】
- ◆多文化共生に係るニーズ調査を実施【新規】
- ◆外国籍の方が外国籍の方をサポートする制度の構築を検討【新規】
- ◆市内日本語教室の支援



新規

RPA導入事業 125万円

P. 118

パソコンでの定型的な作業をオートメーション化
超過勤務時間を削減、働き方改革を推進します

民間企業や一部の地方自治体で導入が進む「RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)」を導入することで、職員がマウスやキーボードを操作して行う定型的かつ大量のデータ入力作業等を自動化し、正確性の向上と処理時間の短縮化を実現し、住民対話や企画立案などの業務へ注力できる業務環境を構築し、働き方改革の推進に役立てます。

また、RPAツールの適用対象となる事務手続きについて、現行の処理手順やルールを明確化・標準化することで、業務自体の効率化を図ります。

H31.1.11 市職員向け講演会
「RPA、AIを活用した業務改革」


展示ブースでのRPA実演



新規

民間企業派遣研修事業 96万円

P. 115

民間企業のノウハウを習得
これまでにない視点から職員の実務能力を向上させます

イノベーションやグローバル化を強く意識した民間企業へ職員を派遣し、情報の発信手法、IT技術の活用手法、民間資金の活用手法等、自治体内の業務の中では触れられない最新の手法を学び、職員の能力の向上と市の事業への還元を図ります。

平成33年度までに9人を派遣する計画で、平成31年度は3人の派遣を予定しています。


民間企業に派遣される市職員
(島原市の例)

新規

ふくふくフォト応援事業 157万円

P. 110

人生の節目に花を添えて幸せのお手伝いをします
ここ福知山で末永くお幸せに！

開かれた市役所を目指し、結婚、出生等の届出をされた来庁者が、人生の幸福な瞬間を写真に残すための撮影場所や保存台紙を提供し、これから始まる福知山での新しい暮らしを祝福・応援します。

(主な取組)

- ◆「ふくふくフォト撮影スポット」として撮影用バックボードを設置
(市役所庁舎1階 正面玄関横(旧自動交付機設置場所))
- ◆オリジナル婚姻届・出生届を製作
- ◆オリジナル台紙を製作(婚姻届・出生届、写真が保存できる台紙)



静岡県湖西市より写真提供 バックボード(左)とオリジナル台紙(右)

4 財政健全化に向けた取組

福知山市財政構造健全化指針(H29.11)の推進

① 財源確保対策

市有財産の積極的活用とアセットによる創出土地等の活用

4億3988万円

※基金繰入は含んでいない

- ・公共施設マネジメントにより創出された土地の利活用による収益を、公共施設総合管理基金に積み立て財源を確保(売却・貸付含め 8349万円)
- ・その他財産収入の確保(財産貸付収入・売払収入 3億5639万円)
- ・H30年度までに積み立てた公共施設総合管理基金をH31年度の各事業に充当(基金繰入 1億4482万円)

ふるさと納税の推進

1億3000万円

※基金繰入は含んでいない

- ・ふるさと納税サイト運営事業者を1者追加、返礼品提供事業者の利便性も向上させ返礼品の充実を図り納税額を確保(予算計上額 1億3000万円)
- ・H30年度までに積み立てたふるさと納税基金をH31年度の各事業に充当(基金繰入 7370万円)

多様な財源の確保

3353万円

- ・市民運動場野球場(福知山SECカーボンスタジアム)でのネーミングライツ料(216万円)
- ・クラウドファンディング、企業版ふるさと納税等の多様な寄附金獲得(210万円)
- ・H30年度にリニューアルしたホームページや市民交流プラザの壁面を利用した広告などによる広告料収入の獲得(856万円)
- ・基金一括管理方式による効率的な基金運用(2071万円)

② 歳出の見直し

理事者給料・管理職手当の削減

- ・6次行革や、財政構造健全化指針の計画最終年度である平成32年度を見据え、理事者・管理職の目標達成に向けての姿勢を示すため、市長・副市長・教育長の給料、課長級以上の管理職手当を削減

市長給料 △10%

副市長・教育長給料 △5%

管理職手当 △5%

補助金適正化の推進

- ・次の課題があった補助金等について個別に検証を行い必要な見直しを実施

＜課題＞

- ①交付が長期化(31年以上)している
- ②事務局を市が担っている
- ③運営費のみを対象としている
- ④根拠法令が存在していない
- ⑤補助割合が高い(1/2を超える)



＜見直しの方向性＞

- ①必要性を検証
- ②交付先団体へ、困難なものは市直営化
- ③事業費のみに補助対象を限定
- ④根拠法令を作成
- ⑤補助割合は原則1/2以内

地方債繰上償還の実施

- ・臨時的な歳入を活用して地方債の繰上償還を実施し、将来の負担を軽減

第三セクター等改革推進債繰上償還 1億8000万円

その他地方債繰上償還 3億3810万円

繰上償還実施額 5億1810万円

上水道事業等包括的民間委託の実施

実施による削減額 5000万円

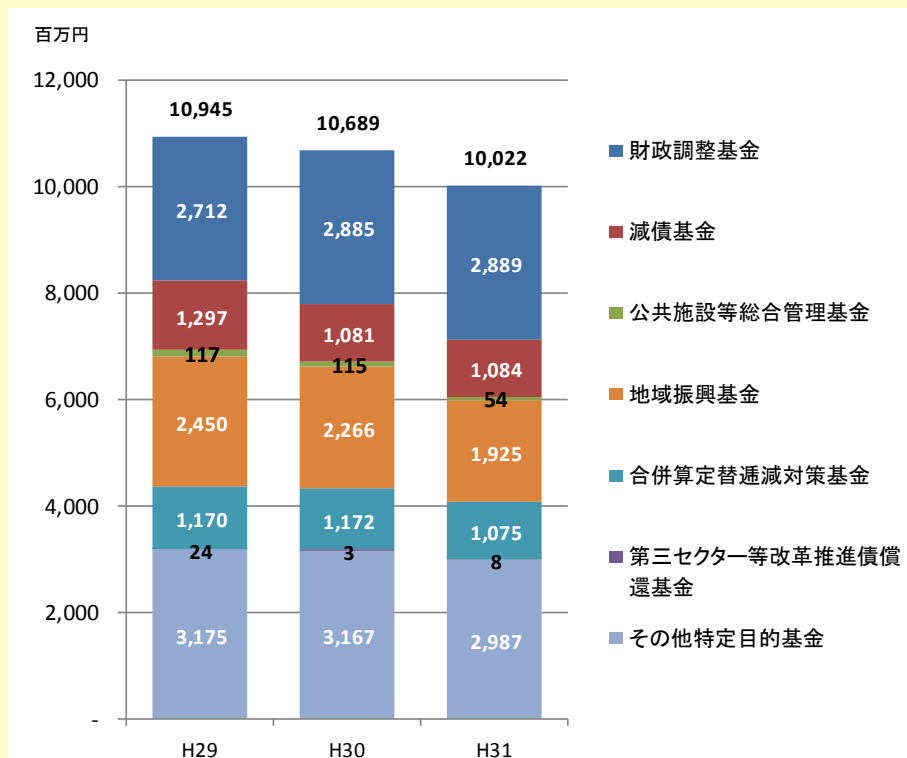
- ・水道事業等において平成31年4月から包括的民間委託業務を開始、人件費等を削減

③ 基金残高

- 全基金残高は前年度末見込みに比べて 6.7億円減少し100.2億円(H31末見込み)
- 地方創生関連等事業に地域振興基金を積極的に活用(3億4,537万円)
- 財政調整基金の取崩しに頼らず予算を編成
- 合併算定替逓減対策基金は、第6次行革での計画取崩し額(H31:2億円, H30:1億円)に対し、1億円の取崩しで編成(2カ年合計で2億円を留保)

(単位 百万円)

	基金残高			前年度比	
	H29	H30	H31	増減額	増減率 %
財政調整基金	2,712	2,885	2,889	4	0.1
減債基金	1,297	1,081	1,084	3	0.3
公共施設等総合管理基金	117	115	54	△ 61	△ 53.0
第三セクター等改革推進償還基金	24	3	8	5	166.7
合併算定替逓減対策基金	1,170	1,172	1,075	△ 97	△ 8.3
地域振興基金	2,450	2,266	1,925	△ 341	△ 15.0
その他特定目的基金	3,175	3,167	2,987	△ 180	△ 5.7
合計	10,945	10,689	10,022	△ 667	△ 6.2



④ 市債残高

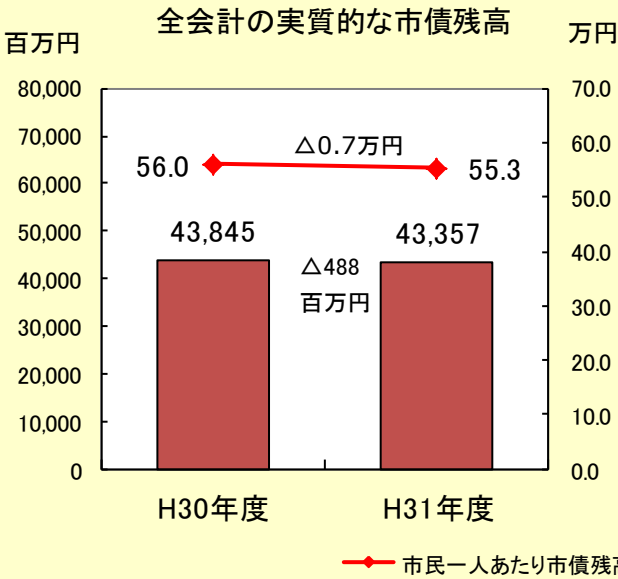
- 市債残高は普通会計、全会計ともに減少(実質的な市債残高(*)も、ともに減少)
- 普通会計の実質的な市債残高(*)は 144.6億円となり、前年度に比べて 3.1億円減少
(市民ひとりあたりの実質的な残高は 0.3万円減少の 18.5万円に。)
- 全会計の実質的な市債残高(*)は 433.6億円となり、前年度に比べて 4.9億円減少
(市民ひとりあたりの実質的な残高は 0.7万円減少の 55.3万円に。)

(*) 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

単位: 百万円

	H30		H31		増 減	
		実質的な市債①	市債	実質的な市債②		
普通会計	53,159	14,767	52,051	14,460	△307	△2.1
全会計	98,012	43,845	96,770	43,357	△488	△1.1
市民一人あたり実質的な市債残高						
普通会計		18.8万円		18.5万円	△0.3万円	△1.6
全会計		56.0万円		55.3万円	△0.7万円	△1.3

★人口はH30年12月末人口78,344人で算出
★普通会計は、一般会計に地域情報通信ネットワーク事業特別会計を加えた想定会計です。



5 事業棚卸しの予算反映状況

平成30年度事業棚卸し対象事業の平成31年度予算における方向性

予算編成における考え方

- 本市では、市が実施する各事業の課題を明らかにし、施策及び事業を効率的、効果的なものにつくりかえることを目的として、平成28年度から「全事業の棚卸し」に取り組んでいます。
- 平成30年度では、公開事業検証13事業を含む400事業について事業棚卸しを行いました。
- 予算編成においては、予算要求及び予算査定の各段階において、事業棚卸しの結果を重要視して、事業のあり方や実施手法について方向性を定めました。

■事業棚卸し対象事業に係る予算事業数

平成30年度予算事業数		400事業
平成31年度	廃止とした事業数	51事業
	廃止とし他事業へ統合した事業数	69事業
	予算額・実施方法等を見直した事業数	241事業
	（予算増とした事業数）	(82事業)
	（予算減とした事業数）	(146事業)
	（予算増減なしとした事業数）	(13事業)
現行通りとした事業数		39事業

※平成31年度は従来どおりの実施手法であるが、将来の見直しに向けて検討等を行う場合は「見直した事業」を含む。

■（参考）大規模な投資的経費

	31年度予算	うち大規模投資にかかる増減額	主な増減内容
防災行政無線整備事業	218,636	218,636	防災行政無線デジタル化工事等
調節池整備事業	707,000	155,732	小谷ヶ丘調整池新設費用等
（仮称）三和学園整備事業	0	△ 334,400	三和学園整備工事等
街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）	0	△ 134,000	旧橋及び水道橋撤去工事等
第1期・第2期処分場埋立整備事業	0	△ 114,700	遮水シート増設、土堰堤築造等工事

■事業棚卸し対象事業に係る予算額（30年度棚卸し実施 400事業）

平成30年度予算額・・・①	12,837,633 千円
平成31年度予算額・・・②	12,241,399 千円
増減額・・・③（②－①）	△ 596,234 千円
<参考>平成30年度予算額 （大規模な投資的経費除く）・・・④	12,254,533 千円
<参考>平成31年度予算額 （大規模な投資的経費除く）・・・⑤	11,867,031 千円
増減額・・・⑥（⑤－④）	△ 387,502 千円

※人件費は除く。

※他事業へ統合したものは平成31年度予算額を0円としている。

※事業棚卸しによる見直しとは関係なく、自然増減やその他の要因等による金額も含んでいる。

（単位：千円）

